

## 委員会報告 [学術委員会]



宮代 勲 JACR理事  
JACR Monograph編集長

大阪国際がんセンター

安田 誠史 高知大学医学部医療学講座(公衆衛生学)  
西野 善一 金沢医科大学医学部公衆衛生学  
杉山 裕美\* 放射線影響研究所疫学部  
伊藤 ゆり 大阪医科薬科大学研究支援センター  
祖父江 友孝 大阪大学医学部環境医学  
田淵 貴大\* 大阪国際がんセンター  
森島 敏隆 大阪国際がんセンター \*Monograph編集委員

2020年7月、学術委員会を安田前委員長から引き継ぎました(通称モノグラフ編集委員会を統合した背景についてはNEWSLETTER No.49参照)。学術集会以の優秀演題表彰の整理に続き、現役員の任期満了となる2022年6月末日を目前に以下の整理を進めています。

### (1)学術奨励に関する表彰制度の見直し

「藤本伊三郎記念がん登録学術奨励賞」を2022年から実施しています。国際がん登録学会(IACR)発表者を対象とした「藤本伊三郎賞」(2021年終了)とは別の表彰制度であり、2012年度から2021年まで設けられた表彰制度「日本がん登録協議学会学術奨励賞」を引き継ぐものです。目的に合致する制度への見直しとともに、継続的な運営に欠かせない資金という課題の解決をはかりました。

### (2)JACR Monographのあり方の見直し

現在の編集体制となった第24刊(2019年3月)から、第1部を構成する論文集の投稿規定や査読プロセスを見直し、編集委員以外の査読者も含めた複数でのpeer reviewとしています。査読プロセスを経ない第2部を構成する学術集会記録についても見直しを進め、研修会資料に加え、抄録集についても第27刊(2022年春予定)から再掲しないこととしました。プログラムの再掲と加筆抄録(査読プロセスなし)の掲載は継続しますが、査読プロセスを経る第1部への投稿を促しています。また、1年後になっていたウェブ掲載を紙媒体発送後の早々に公開する方針(Supplementは会員サイト限定)に変更しました。

前委員長から引き継いでいる学術集会企画への参画の見直しについては、新型コロナウイルス感染症対応で学術集会様式が変則的であることを考慮して保留としていますが、第21回から第26回の学術集会同様、継続性を考慮しながらタイムリーなテーマでシンポジウムを企画することの復活を予定しています。

## 委員会報告 [安全管理委員会]



西野 善一 JACR副理事長

金沢医科大学医学部

大木 いずみ 埼玉県立大学  
伊藤 秀美 (公財)放射線影響研究所  
茂木 文孝 (公財)群馬県健康づくり財団  
金村 政輝 宮城県立がんセンター研究所  
森島 敏隆 大阪国際がんセンター

JACRは国立がん研究センターからの委託を受けて「都道府県がん登録室外部監査業務」を実施しており、業務の運営は安全管理委員会委員、都道府県がん登録関係者、外部有識者より構成される外部監査委員会により行われています。昨年度(令和2年度)は、これまでと同様に、提供を受けた文書類(業務手順書、管理記録簿の様式等)による事前評価と、登録室責任者からの聴取や登録室内の視察等から構成される監査を令和2年11月から12月に10自治体に対して行いました。

監査の結果、1自治体において全国がん登録業務の担当職員と同じ室内で業務を行う他部署の職員との間の業務エリアの区分が不十分という重欠点(当該項目の不備が差し迫った情報漏えいのリスクとなる可能性のある事項)を検出しました。また、緊急性はないものの改善が求められる事項である軽欠点は全ての自治体で検出しましたが、複数の自治体で検出した事項としては、医療機関に対してがん登録室の安全管理措置についての説明が行われていないか不十分、個人情報を含む資料を一般のインターネットを介して移送することの禁止について医療機関への周知が不十分、終端装置を収容するボックスの鍵が他のキャビネットの鍵等と共に保管されている、清掃や設備点検のために登録室に入室した者の記録が残されていないなどでした。これらの事項について重欠点は現地監査実施時に、軽欠点は監査結果報告書を通して当該自治体に通知し、全ての自治体から改善策を講じたとの報告を受けています。なお、当該監査結果の概要は国立がん研究センターがん情報サービスのホームページ([https://ganjoho.jp/med\\_pro/cancer\\_control/can\\_reg/national/prefecture/audit.html](https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/prefecture/audit.html))に公表されていますのでご参照ください。

外部監査業務は平成28年度より実施されていますが、昨年度で全47都道府県への実施が完了しました。各登録室におかれては、監査結果報告における指摘事項を改めて確認され、安全管理の内部評価等に活用をいただければ幸いです。

### → 監査結果の概要

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/cancer\\_control/can\\_reg/national/prefecture/audit.html](https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/prefecture/audit.html)

